

CISSP 保有者の年収

日本の相場を解説

正社員・フリーランス別の年収戦略

平均 889 万円・月単価中央値 92.5 万円の実態と活用戦略



維持費で赤字にならないでしゅか？

数字で見れば費用対効果は明白だ



【解説に入る前に】サービスのご紹介



セキュリティプロ・フリーランス

セキュリティに特化したフリーランス案件の
マッチングサービス

- ✓ 最高月収 150 万円・月額 80 万円以上の案件が 80% 以上
- ✓ リモート率 80% 以上、フルリモート案件多数
- ✓ セキュリティに精通した専任エージェントが営業・単価交渉・契約を代行

[詳細を見る →](#)



セキュリティプロ・テンショク

セキュリティエンジニア / コンサルタントに
特化した転職エージェント

- ✓ 最高想定年収 1,200 万円・利用者の 85% 以上が年収アップ
- ✓ 取扱求人の約 7 割が非公開求人
- ✓ 技術がわかるアドバイザーが書類添削・面接対策・年収交渉を代行

[詳細を見る →](#)



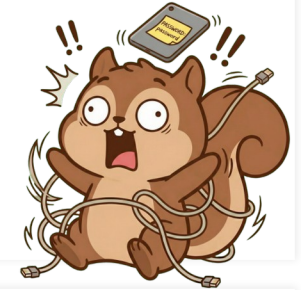
どちらも登録・利用は完全無料。在職中・フルリモート希望でも相談できます。
まずは市場価値の無料相談から。

● 正社員 CISSP 保有者の年収レンジ



セキュリティエンジニア

エンジニア・アナリスト求人 29 件は中央値 680 万円



CISSP コンサル

CISSP 記載の求人 13 件は中央値 650 万円（450 ～ 1,100 万円）



年収の核心

マネージャー層は公開求人で 750 万～ 1,383 万円。公的統計の部長級は約 1,213 万円

● 年収アップにつながる 3つの経路

1

資格手当・一時金

合格時の一時金や月数千～数万円の手当が直接上乘せされる

2

上流ポジションの入口

コンサル・役職昇進時に前提条件クリアとして評価される

3

転職・案件交渉材料

より高い年収帯のポジションへ移る際の加点として機能する

手当より、上の椅子を目指せ



● 20 ～ 30 代が積むべき 4 つの経験

1

SOC ・ ログ分析

セキュリティ監視チームでのログ分析・運用実務

2

脆弱性診断

ペネトレーションテストの実務経験

3

インシデント対応

フォレンジック初動・対応体制の経験

4

クラウド・ID 管理

クラウドセキュリティや ID 管理の設計補助

経験の幅が受験資格の土台になる



● 35 歳以降：年収が分かれる 2 つの路線

マネジメント路線

GRC ・ コンサル ・ PMO

- ・ セキュリティ責任者
- ・ GRC コンサルタント
- ・ 役職とともに年収上振れ

VS

専門特化 ・ 技術路線

診断 ・ クラウド設計

- ・ ペネトレ ・ 脆弱性診断
- ・ クラウドセキュリティ設計
- ・ 希少スキルで単価勝負



分岐の核心

35 歳は上がりではなく選択点。強みで管理か技術かを選ぶ

● セキュリティ三大資格の位置づけ



CISSP

8 ドメイン横断。マネジメント層も評価される国際認定



安全確保支援士

国内唯一のセキュリティ国家資格。国内企業で評価高い



Security+

CompTIA 認定の基礎～中級の国際資格。IT 全般の証明に

CISSP と支援士は競合せず補完関係。両取得者も多い



● 国際認定と CPE が評価される理由



外資・グローバル案件

世界共通基準で海外拠点でも即通用する



CPE 継続教育の仕組み

学び続ける前提が保有者の信頼を裏づける



評価の核心

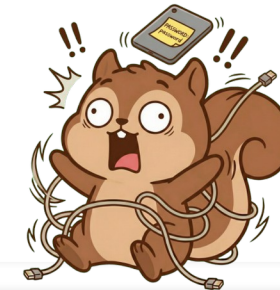
ガバナンス・CSIRT 体制構築の上流案件で国際認定が説得力を持つ

● 日本 3,000 人の希少性が単価を押し上げる



世界 15 万人・国内 3,000 人

ISC2 Japan 2024 年時点の公表値



世界 480 万人の人材不足

ISC2 2024 年調査。需要過多が続く構造



希少性の核心

少ないから値がつく。需要多・供給薄の市場が単価を押し上げる

● 受験・認定に必要な 2 つの要件

1

業務経験 5 年

CBK8 ドメインのうち 2 分野以上で合計 5 年以上。学位等で 1 年免除可

2

エンドース（推薦）

現役 ISC2 保有者による推薦が必要。身近にいないければ ISC2 が代行

推薦者の壁は越えられる



● 維持費の実額と費用対効果



受験料

749 USD (約 11 万円台・為替変動あり)



年会費 (AMF)

135 USD/ 年 (月換算で約 2,000 円弱)



費用対効果の核心

年収が 50 万円上がれば維持費は初年度でほぼ回収できる計算

● フリーランス案件の単価相場



月単価の中央値 92.5 万円

12 か月換算で 1,110 万円。自社公開案件 118 件の集計



CISSP が加点の案件

GRC 支援・CSIRT 構築・監査・ペネトレ等



単価の核心

上流ガバナンス案件では国際認定が信頼の裏づけとして直接評価される

● 正社員とフリーランスを正しく比較する

正社員

安定重視の選択

- ・ 額面年収で提示される
- ・ 月給で安定
- ・ 役職に年収上限が左右される

VS

フリーランス

単価で上を狙う選択

- ・ 月単価 × 稼働月数が収入
- ・ 案件継続性にリスク
- ・ CISSP で単価交渉が有利



判断の軸

まず案件相場を自分の目で確認するのが堅実な次の一步

● まとめ



正社員は CISSP 記載の公開求人 13 件で中央値 650 万円（450 ～ 1,100 万円）



35 歳はマネジメントか専門特化かの分岐点、逃げずに選ぶ



フリーランスは月単価の中央値 92.5 万円。年収の天井を突破できる

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

[セキュリティプロ・テンショク >](#)

